

会 議 録

日 時	平成 28 年 7 月 19 日 (火)	
場 所	渡嘉敷村中央公民館	
議 題	第一回ガイドブック制作委員会 20:00 の回	
<p>(1) ターゲットについて</p> <ul style="list-style-type: none">・ (叩き案では、珍しい場所、低価格旅行を志向する層をターゲットにしていたが、) 狙うべきターゲットが違う気がする。低価格層ではなく、高価格層も含めたブランディングをしていく必要がある。・ 高価格ターゲットを狙い、低価格で気軽に行ける (近い) だけじゃない層を誘客して欲しい。・ 「実施計画策定に向けた基礎調査」で狙うべきターゲットについてはもっと議論を掘り下げる。 <p>(2) 国立公園の伝え方について</p> <p>質問：国立公園に指定されてから、村としてルールや決まり事は定まっていますか？ ガイドラインはありますか？</p> <p>回答：慶良間諸島として公園法で縛られている規定はあるが、村としては設けていない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 国立公園として、渡嘉敷村独自のルール、決まり、ガイドラインが必要だと思う。 <p>(3) 既存のツールとの使い分けについて</p> <ul style="list-style-type: none">・ 観光施設・観光パンフレットは既存のものがある。もっと便利なもの、もっと掘り下げたものが必要。・ メインのターゲット層は国内旅行者。・ 国立公園であることを大々的に公表できる島であるのに、伝えきれていない。・ もっと誘客するためには、ブランディングが必要だと思う。 <p>(4) 他の観光地との差別化について</p> <ul style="list-style-type: none">・ どういった特色があるのかを伝える・ ターゲット層を絞る必要がある <p>(5) ガイドブックの部数について</p> <ul style="list-style-type: none">・ ガイドブックの発行部数が、外国人向けのほうが多いのは不自然では (中国人、韓国語、英語)。・ ガイドブックが港で捨てられているのを見た。捨てないでほしい。捨てられない工夫をして欲しい。・ 日本語版が重要、英語版も重要だが、中国語・韓国語の部数が多すぎる。 <p>(6) ガイドブックの内容について</p> <ul style="list-style-type: none">・ マナーの内容も入れるべき (トイレ、ごみ、公共の場所で大きな声で話さない)・ WEB 対応が必要。・ 通訳を雇ってガイドできる状態にした方がいい。・ 閑散期はピーク時より細やかな対応ができるので、料金を下げている事業者がもっと頑張ってもらいたい。 <p>(7) 配布について</p> <p>質問：島に来た人が手に取るものなのか、誘客で使うものなのか</p> <p>回答：今回は誘客よりも、島に来る予定、来ている人がターゲット</p> <p>(8) WEB 対応について</p> <ul style="list-style-type: none">・ WEB と連動していて、旅行者にとって利便性が高いもののほうがいいと思う。・ 船の空き状況、旬の食べ物などを配信できる。・ 在庫状況など、オンタイムの情報を発信できるので WEB がいい。・ 季節ごとに新しい内容を発信できる。・ ガイドブックの内容と、リンクしている必要がある。・ タイムリーな情報を更新していく仕組みを作る必要がある。・ WEB については次年度以降に検討する。		

(9) ガイドブックの構成について

- ・冊子がいい。
- ・8 ページで妥当なのか検討が必要。
- ・島で遊べる場所を載せるべき。
- ・リピーター造成につながるような内容を入れるべき。
- ・リピーターを作るためにクーポンを付けたほうがいいのか。
- ・リピーター造成なら、今知らない情報を入れていくべきでは？
- ・星空
- ・夕日等

(10) 環境保護に関する情報について

- ・本当の意味の「ガイド」として、環境保全、保護の視点を載せてほしい。
- ・ウミガメを触るな、追っかけるな、と禁止事項を書くよりも、島では国立公園としてウミガメを追いかけたり触ったりしない工夫をしています。という書き方で入れてほしい。〇〇禁止という伝え方はしてほしくない。そのマナーがブランディングに繋がる。
- ・渡嘉敷村のルールを掲載する。
- ・自然環境保護の他、観光客の安全を守ることに繋がるルールの情報は載せてほしい。

(11) 飲食店の情報について

- ・ベジタリアンの方は食べるものがない。ベジタリアン対応可否等の情報を入れてほしい。
- ・定休日、営業時間は絶対に入れるべき。